

諏訪之瀬島の火山活動解説資料

福岡管区气象台
地域火山監視・警報センター
鹿児島地方气象台

＜噴火警戒レベル3（入山規制）が継続＞

御岳^{おたけ}火口では、活発な噴火活動が続いています。

昨日（23日）、気象庁機動調査班（JMA-MOT）が鹿児島県の協力により実施した上空からの観測では、御岳火口底の一部が赤熱しているのを確認しました。また、火口内で噴石が飛散しているのを確認したほか、火口及びその周辺で飛散した噴石と考えられる高温域を確認しました。

【防災上の警戒事項等】

御岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

○ 活動概況

御岳^{おたけ}火口では、長期的に噴火を繰り返す中で、噴火活動がさらに活発化しています。

21日22時54分の爆発及び23日00時04分の爆発では、弾道を描いて飛散する大きな噴石が火口からそれぞれ北西方向と南東方向に約900mまで飛散しました。

爆発は、21日10回、22日15回、23日8回、本日（24日）は3回（15時速報値）発生しています。

昨日、気象庁機動調査班（JMA-MOT）が鹿児島県の協力により実施した上空からの観測では、火口底の一部が赤熱していることを確認しました。また、噴火に伴い火口内で噴石が飛散しているのを確認しました。火口内及び火口周辺には飛散した噴石と考えられる高温域を複数確認しました。火口からは乳白色の噴煙が火口縁上200～300m程度上がっていました。

十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、同火口から南南西約4kmの集落で時々鳴動が確認されています。

傾斜計による地殻変動データに、大きな変化はみられていません。

この火山活動解説資料は福岡管区气象台ホームページ（<https://www.data.jma.go.jp/fukuoka/index.html>）や気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、京都大学、東京大学及び十島村のデータも利用して作成しています。

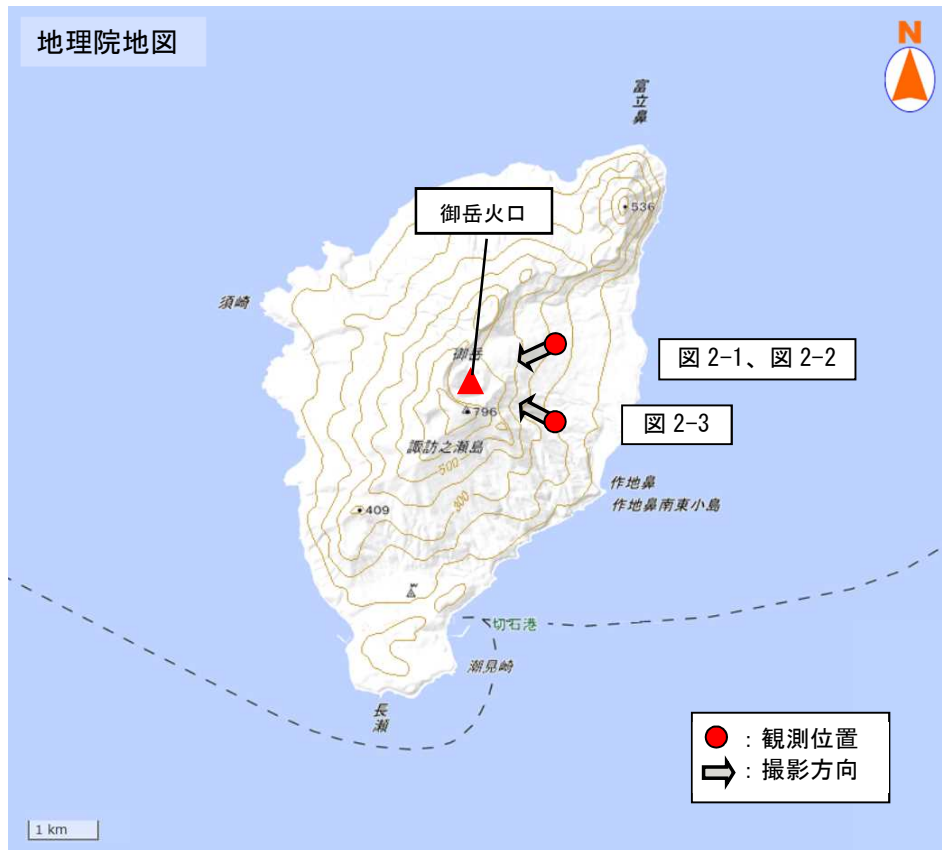


図 1 諏訪之瀬島 調査観測位置図（図 2 の観測位置及び撮影方向）

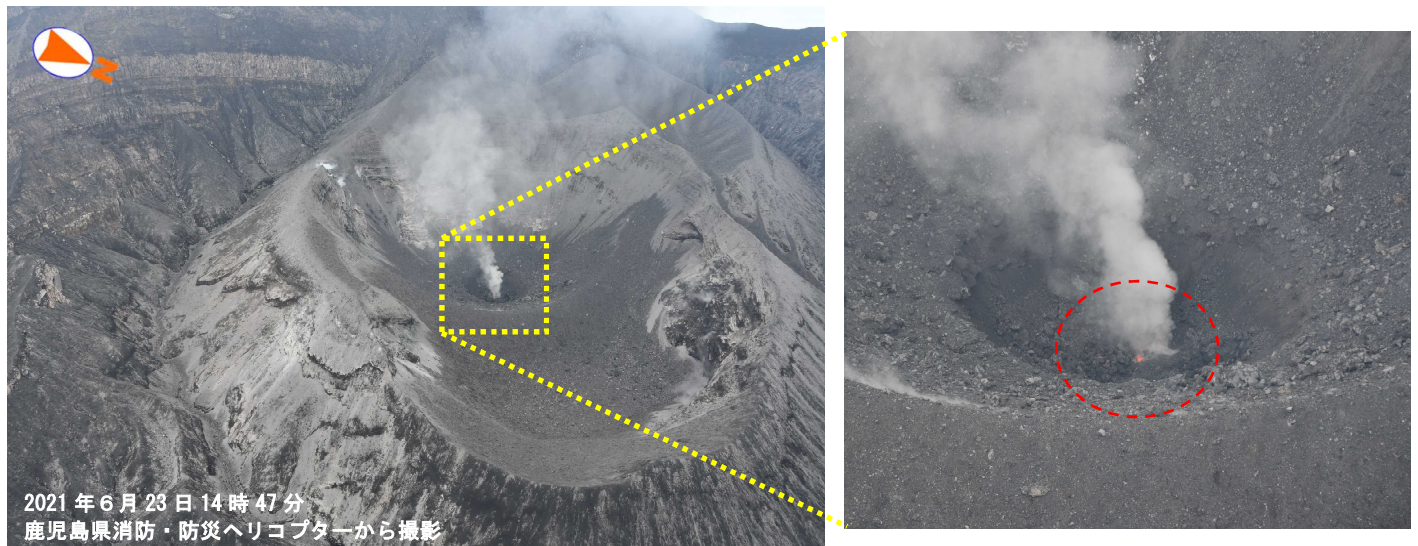


図 2-1 諏訪之瀬島 御岳火口の状況 諏訪之瀬島北東側上空より撮影（2021 年 6 月 23 日）

- ・ 御岳火口底の一部が赤熱（赤丸）しているのを確認しました。
- ・ 乳白色の噴煙が火口縁上 200～300m まで上がっているのを確認しました。

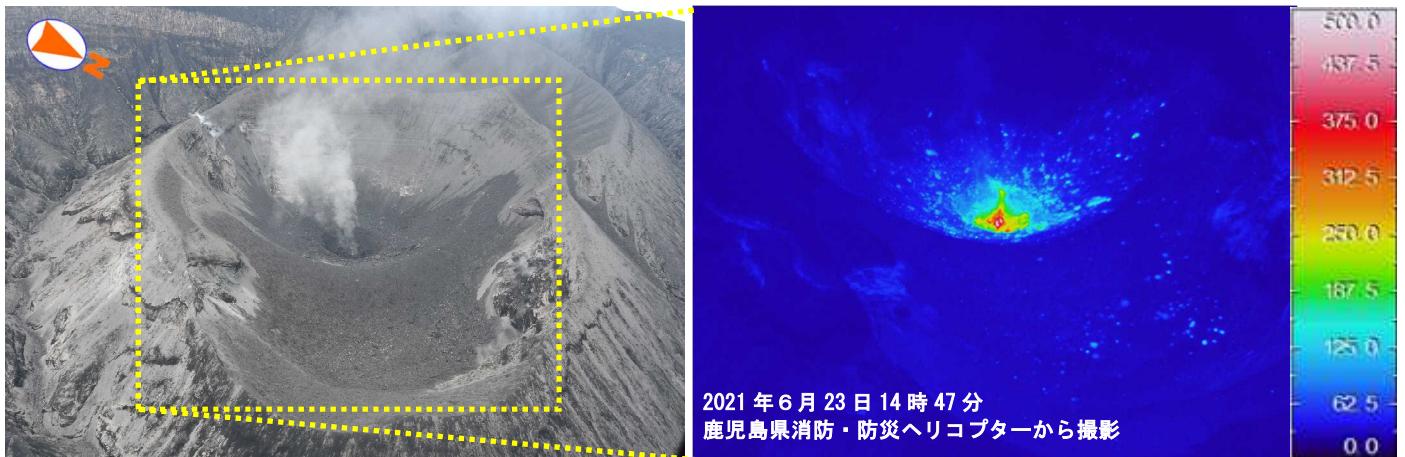


図2-2 諏訪之瀬島 御岳火口の状況 諏訪之瀬島北東側上空より撮影（2021年6月23日）
火口底で高温域を確認したほか、火口内及びその周辺で飛散した噴石と考えられる高温域を確認しました。

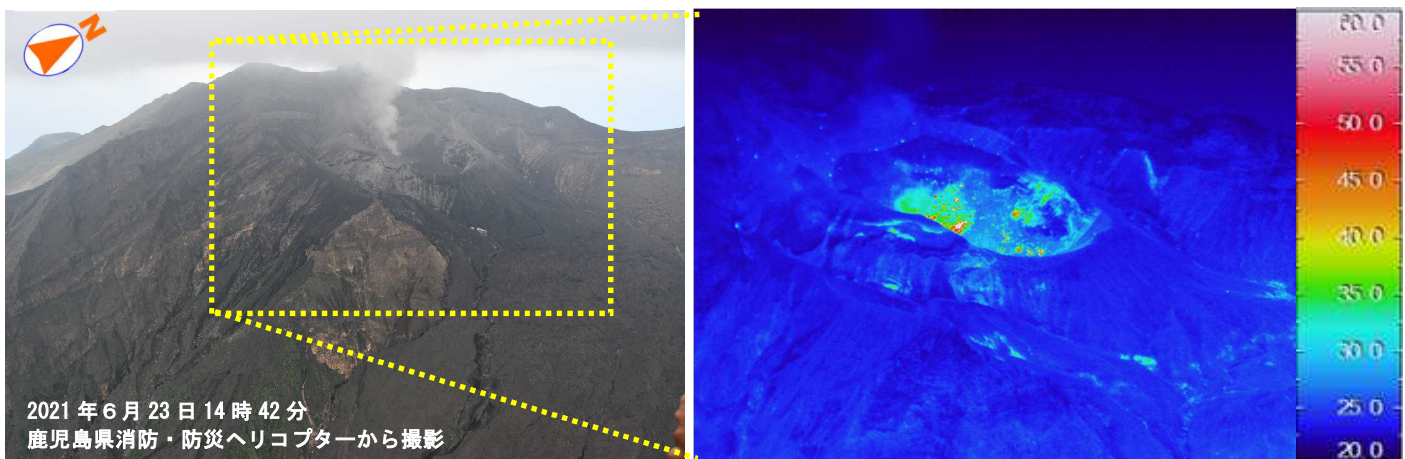


図2-3 諏訪之瀬島 噴火の状況 諏訪之瀬島南東側上空より撮影（2021年6月23日）
火口周辺で地熱域及び飛散した噴石と考えられる高温域を確認しました。

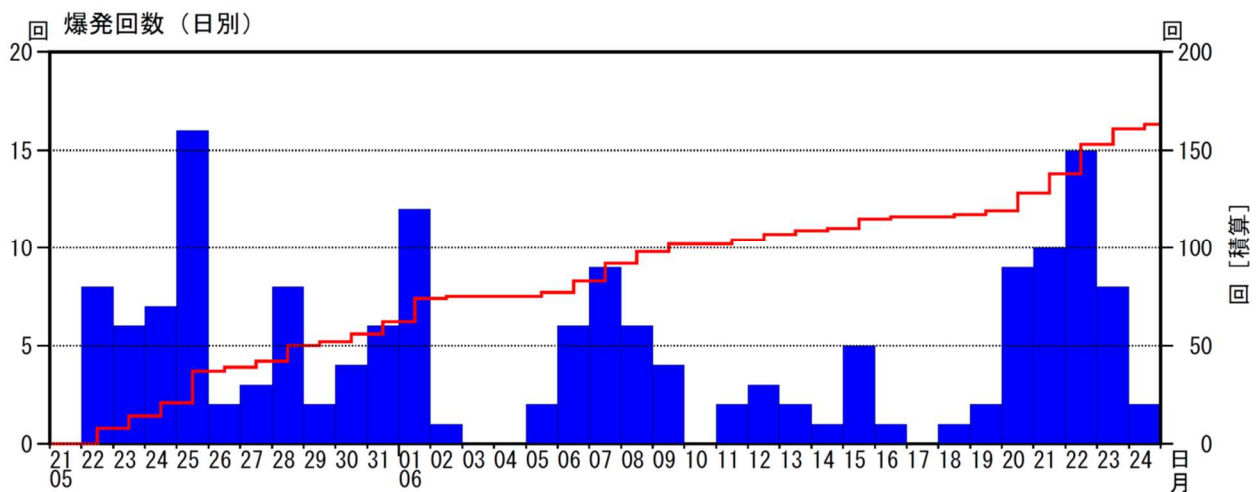


図3 諏訪之瀬島 爆発の日別回数と積算回数（2021年5月21日～6月24日15時（速報値））
御岳火口では、活発な噴火活動が続いています。